



道道維持・除雪功労者表彰

10月19日（火）に上川総合振興局にて、上川総合振興局旭川建設管理部維持・除雪功労者表彰が行われ、占冠村から山本清市さん（株式会社川端組・宇中央）が表彰されました。

山本さんは36年にわたり、道道の維持管理および除雪業務に従事され、住民の安全・安心な生活の確保に貢献した功績が認められました。

降雪時には、夜が明ける前から除雪作業に従事されることもしばしば。日頃からの道路維持のおかげで安全安心に走行できることに感謝申し上げます。



特殊詐欺に気をつけて

10月12日（火）に特殊詐欺被害の防止を喚起する取り組みとして、トナム保育所の園児が祖父母に宛てたハガキを郵便局員に手渡しました。

ハガキの発行は、富良野警察署と富良野地区防犯協会連合会が行ったもので、脚本家の倉本聰さんのメッセージが添えられています。

ハガキには「会えるのをたのしみにしてる」「コロナにかからないでね」「大好きだよ」といった子どもたちからのメッセージが書かれていました。



不審者対策の避難訓練

9月15日（水）にトナム学校内に不審者が侵入した想定で避難訓練がありました。侵入した不審者を発見し、職員室から警察へ連絡、児童生徒の避難が完了すると、占冠駐在所の秋山所長が不審者を取り押さえるという一連の動きを行うことで、連絡体制や避難経路の確認を行うことができました。

訓練後は駐在所による講話があり、不審者に遭遇した際に注意すること（いかのおすし）や、先生向けにさす又の使い方等に関する説明があり、防犯に対する対応の強化がされました。



優良運転者として表彰

9月28日（火）に富良野地方交通安全協会会長表彰の伝達式が行われ、大沼八恵子さん（字占冠）が優良運転者（10年）の表彰を受けました。

交通安全協会の会員として、交通規則を遵守し常に安全運転を心がけ、みなさんの模範として安全運転を推進した功績が認められました。

大沼さんは、これまで自身の習い事などで富良野や旭川などにたくさん通った思い出など、これまでの安全運転への思いを話してくれました。



初コンテナ苗の植林

占冠村の人工林は、多くが50年生以上の高齢級林であり、計画的な森林の若返りが必要です。

今回、ニニウ地区において上川南部地域で初めてのカラマツコンテナ苗による植林を実施しました。

コンテナ苗は、枯死する可能性が低く、植栽時の高度な技術が不要です。また、植栽の時期も広がるので、労働作業の通年化や軽労働化による林業の新たな担い手の増加が期待されています。

これからも占冠村の林業に新たな光を見出すべく、チャレンジしていきます。

村内サイ”クリーン”グ

9月26日（日）に占冠村サイクルツーリズム推進実行委員会が主催した「村内サイクリング」が行われました。その名のとおり「サイクリング」と「クリーン（ゴミ拾い）」を合わせた取り組みで、中央からトナム方面に向かう駐車帯までを移動し、ゴミ拾いを行いました。

ごみ捨てを禁止する看板が設置されているにもかかわらず、3袋分にもなる大量のゴミが捨てられていました。子どもたちに豊かな自然を残していくには大人がしっかりとルールを守ることが必要です。

秋の交通安全キャンペーン

9月21日（火）および22日（水）に秋の交通安全運動週間にもない、中央地区とトナム地区で交通安全キャンペーン（旗の波）を行いました。

トナム地区ではトナム保育所の園児とトナム学校2年生の児童が参加しました。最初に占冠駐在所の秋山所長より講話があり、その後、地域のみなさんと一緒に沿道に立ち、しむかっぴーの描かれた交通安全の旗を振りながら、通行するドライバーに対して交通安全を訴えていました。

ノルディックウォーキング

ふらの沿線で行われるスポーツフェスタの一環として、占冠村でノルディックウォーキングが10月2日（土）に行われました。

参加者からは「天気も良くて気持ちよかった」「なかなか歩かないコースで汗をかくにも良いコースだった」「毎年コースが変わるので参加が楽しみ」といった感想が出されていました。

双珠別の村道をおよそ4km、軽く汗ばむ陽気の中、紅葉や滝を楽しみながらのウォーキングとなりました。